

## インターンシップエントリー「ポイント集」

エントリー内容は、インターンシップ前に企業があなたを知るための、言わば「分身」として機能する大切な情報です。あなたの魅力が企業にしっかりと伝わるよう、このポイント集をご活用いただけましたら幸いです。

### ■文章作成のポイント

- 質問の意図をしっかりと理解し、読み手の知りたい内容を回答できているか。
- 各質問（志望理由、自己PR、専門あるいは関心のある分野）の回答に込めたメッセージ（アピールポイント）に一貫性はあるか。
- 応募先を意識した内容になっているか。  
⇒自己PR等の使い回しに注意
- 自分を良く見せるため、事実に反することや事実以上のことを伝えるのではなく、足りていない部分も含めて、魅せ方を工夫しながら【等身大の自分】を伝えましょう。その上で、「成長したい」という気持ちを表すことが大切です。
- 【自分らしさ】が表現されていて、人柄やタイプをイメージしやすい内容か。  
⇒事実だけでなく、【理由やその時の思い】も盛り込む

### ■志望理由

- 志望理由が応募先の特徴やインターンシップの実習内容等と合っているか。  
⇒事業・実習内容をしっかり把握した上で応募することが大前提
- 実習の参加目的  
この応募先でしか体験できないことをしっかりと考え、「実習を通して自分はどなりたいのか、どんなことを実現したいのか」という目的を明確にしましょう。さらに「その目標を達成するための行動計画」がしっかりと記載されていたら、読み手もあなたの目的をイメージしやすくなります。  
⇒あなたが実習に取り組んでいる姿を読み手にイメージさせる
- 実習で体験したいこと  
やりたいことを具体的にアピールすることで、実習に対するあなたの熱意が読み手に伝わりやすくなります。また、実習内容によっては、学生の声をカリキュラムに取り入れてもらえる場合もあるため、学びたいことは積極的に発信しましょう。

## ■自己PR（自分の強み、長所、特徴）

- アピールしたい能力が志望理由と繋がっているか。  
自分をしっかりと理解した上で、自分の強みをどう活かせるのかを伝えましょう。
- 伝えたいことは一つに絞りましょう。伝えたい強みが他にもある場合は、他の質問（研究への取り組み等）に対するエピソードで表現することもできます。

★冒頭で自分の強みを明記し、根拠となるエピソードを盛り込んで説得力を出す

### アピールしたい能力と、それに合ったエピソードを選ぶ

【×例】 私にはリーダーシップ力があります。クラブ活動では部長として、部員の意見が分かれたときには一人一人の意見に耳を傾け、それぞれの意見の良いところを取り入れ、部の活動を行っております。

「リーダーシップ力」という【言葉が持つ意味】をさらに深く掘り下げる



### アピール + エピソードに一貫性を持たせる

※このエピソードでは、読み手によって「人の意見をしっかり聞き、まとめる力」の方がアピールしたい能力に適しているのではないかと感じられる場合もあります。

## ■専門あるいは関心のある分野

この質問から、読み手は研究概要や科目のみを詳しく知りたいのではなく、どのように取り組んでいるのか、【あなたの性格や課題に対する姿勢】を見ています。

## ■完成後

応募前に誤字脱字が無い確認して、文章を Word 等のファイルに保存あるいは印刷して手元に残すことをお勧めします。今後、新たにエントリーする時の参考にしたり、キャリアセンター等での面談の資料にしたりと、様々な場面で活用できます。

## ■よくある質問

Q. インターンシップの志望理由が具体的に書けません。

A. 「その企業のどのような点を良いと思うのか、何故その業界を知りたいのか、どのようなことを知りたいのか」等、【自分の気持ちを軸にして】考えてください。他にも、その企業のホームページ等を見て魅力に思うことを挙げてみましょう。

Q. インターンシップの「参加できない日程」欄には、学校の予定も書きますか？

A. 私用の外せない予定だけでなく、学校の授業や試験、補講等も必ず確認の上記入してください。